

立命館生存学研究

vol.6

— 目次 —

特集1 東日本大震災。百年経ったら—記憶・継承・忘却—

A面の特集趣旨：災害／緊急事態とアート——東日本大震災から10年を経て	有馬恵子	5
B面の特集趣旨	美馬達哉	9
第1部 対談録「災害／緊急事態とアート——東日本大震災から10年を経て」	大友良英・藤井光	11
第2部 講演録		
災害の来し方、行く末	水出幸輝	21
コミュニティメディアの考古学 ——初期ビデオアート、CATV、災害の記録——	飯田豊	25
近作について	藤井光	31
第3部 全体討論	大友良英・藤井光・水出幸輝・ 飯田豊・美馬達哉・マーティン・ロート・有馬恵子	35

特集2 情報アクセシビリティのいまとこれから

特集趣旨	川端美季・大谷いづみ	45
開会挨拶	大谷いづみ	49
コロナ禍における生存学研究所の情報保障について ——総括編——	橋口昌治	51
コロナ禍における生存学研究所の情報保障について ——障害学国際セミナー編——	中井良平	57
コロナ禍における生存学研究所の情報保障について ——障害学会編——	安田智博	63
情報アクセシビリティとセーフスペース	川端美季	67
文字情報保障とは ——参加保障のための本質——	窪崎泰紀	73
コロナ禍でのオンラインによる情報保障（手話通訳） ——聴覚障害当事者の立場から——	甲斐更紗	77
目に見えない困難 ——留学生の立場から——	シン・ジュヒョン	85
分断ではなく架橋へ ——何らかの「困りごと」をもつ学生と何らかの「困りごと」をもつ教員支援の未来——	大谷いづみ	87

公募論文

「原則統合」の法制化の必要性の認識とその構想 ——障害児を普通学校へ・全国連絡会の1990／2000年代——	堀智久	93
自閉スペクトラム症の特性がある母親の育児の経験 ——安定につながる要因の検討——	小林孝子	105
1960年代の黎明期自閉症児の親の会と全国組織化の過程 ——三重県あすなろ学園とその親の会、および「自閉症児親の会」の関係資料から——	植木是	117
アジアの障害者支援における研修生と受け入れ側の様相 ——メインストリーム協会の実践から——	権藤真由美	129

執筆者紹介		141
『立命館生存学研究』公募論文投稿規程		143

